

感染症に伴う意見書・登園届の提出について

保育園は毎日小さな子どもたちが長時間集団で生活をする児童福祉施設です。抵抗力が弱く身体も未熟な子どもたちの健康を維持し、安心して生活できることが何よりも大切です。

このことから、三愛保育園では感染症の拡大防止と一人一人の子どもたちの健康を守るために、厚生労働省「保育所における感染症対策ガイドライン」を参考にし、病気が回復し登園する際には、医師の意見書をお願いしております。

2017年度までは、感染症に対してはすべて医師による意見書の提出をお願いしておりましたが、2018年度より、裏面の表の「医師が記入した意見書が望ましい感染症」に関しましては、今まで通り、医師による意見書の提出をお願いし、それ以外の感染症につきましては、医師の診察を受けた後、保護者の方の判断で記入していただく「登園届」を提出していただくこととなります。

保護者の方が記入される「登園届」は、保護者の方のご負担（通院・文書代等）がなるべく少なくなるようにという配慮より導入されることになりましたので、今後保護者の方の判断、認識が統一されず、病状が回復しないまま登園されるケースが多くなる場合には、また全ての感染症に対して、医師の意見書を提出していただかなければならない状況となってしまいます。

くれぐれも、お子さまの体調をしっかりと観察し、把握した上で、集団生活に支障がないと判断されてからご記入いただきますようお願い申し上げます。

特に保育園でかかりやすい病気

インフルエンザ・水痘（水ぼうそう）・流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

溶連菌感染症・手足口病・リンゴ病・ウイルス性胃腸炎・突発性発疹

尚、保育園で発熱した場合（37.5度以上）は、今まで通りお子さまの様子をお知らせする連絡を入れさせていただきます。その時々での感染症の流行状況や、お子さまの体調をよく観察した上で、早めのお迎えをお願いすることもございます。何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

2018年3月20日
社会福祉法人サマリヤ会
三 愛 保 育 園
園 長 安孫子 稔

【医師が記入した意見書が望ましい感染症】

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
麻疹(はしか)	発症1日前から発しん出現後の4日後まで	解熱後3日を経過してから
インフルエンザ	症状が有る期間(発症前24時間から発病後3日程度までが最も感染力が強い)	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで(幼児(乳幼児)にあっては、3日を経過するまで)
風しん	発しん出現の前7日から後7日間くらい	発しんが消失してから
水痘(水ぼうそう)	発しん出現1～2日前から痂皮形成まで	すべての発しんが痂皮化してから
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	発症3日前から耳下腺腫脹後4日	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過するまで、かつ全身状態が良好になるまで
結核		医師により感染の恐れがないと認めるまで
咽頭結膜熱(プール熱)	発熱、充血等症状が出現した数日間	主な症状が消え2日経過してから
流行性角結膜炎	充血、目やに等症状が出現した数日間	感染力が非常に強いため結膜炎の症状が消失してから
百日咳	抗菌薬を服用しない場合、咳出現後3週間を経過するまで	特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療を終了するまで
腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26、O111等)		症状が治まり、かつ、抗菌薬による治療が終了し、48時間をあけて連続2回の検便によって、いずれも菌陰性が確認されたもの
急性出血性結膜炎	ウイルスが呼吸器から1～2週間、便から数週間～数ヶ月排出される	医師により感染の恐れがないと認めるまで
髄膜炎菌性髄膜炎		医師により感染の恐れがないと認めるまで

【医師の診断が望ましいが、意見書が必要ではない感染症】

感染症名	感染しやすい期間	登園のめやす
溶連菌感染症	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後1日間	抗菌薬内服後24～48時間経過していること
マイコプラズマ肺炎	適切な抗菌薬治療を開始する前と開始後数日間	発熱や激しい咳が治まっていること
手足口病	手足や口腔内に水疱・潰瘍が発症した数日間	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
伝染性紅斑(リンゴ病)	発しん出現前の1週間	全身状態が良いこと
ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタ、アデノウイルス等)	症状のある間と、症状消失後1週間(量は減少していくが数週間ウイルスを排出しているため注意が必要)	嘔吐、下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること
ヘルパンギーナ	急性期の数日間(便の中に1か月程度ウイルスを排出しているため注意が必要)	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること
RSウイルス感染症	呼吸器症状のある間	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと
帯状疱疹	水疱を形成している間	すべての発しんが痂皮してから
突発性発しん		解熱し機嫌が良く全身状態が良いこと